

## 1面、2面、3面左の注釈

- \*1 『深沢・桜新町 100 年史』 p26「風景印象図(荒木進作図)」参照
- \*2 下記及び『深沢・桜新町 100 年史』 p28「新町住宅地周辺の区画整理事業」参照
- \*3 昭和 15 年ひなづる幼稚園を日本体育会が買収、その後は自然休園状態になっていたようです。昭和 19 年には幼稚園閉鎖令が出され、日体女子部運動場としての園庭利用を経て、昭和 30 年に幼稚園開設に至りました。以上、日体幼稚園から提供いただいた資料による。
- \*4 五島育英会による。
- \*5 郷土史研究家飯田恭次さん(上用賀在住)からのヒヤリングによる。
- \*6 中島香織ほか「旧陸軍の建物変遷に関する研究 その 3—旧海軍予科練医務科および旧陸軍衛生材料廠に関する研究—」日本建築学会大会学術講演会梗概集、2006 年 9 月
- \*7 「当時、桜町高女に通っていた母から聞いた。」として、地元の方からのヒヤリングによる。
- \*8 いずれも地元の方からのヒヤリングによる。
- \*9 佐賀県小城市文化課からのヒヤリングによる。
- \*10 鳥居民『昭和 20 年 第 7 巻 東京の焼尽』 2015.10.8、草思社、p408-p413 に記述がある。ほかに『深沢・桜新町 100 年史』 p30「関東大震災と戦災」参照

**区画整理事業**とは、道路や公園を整備し、複雑に入り組んだ区画を変えて整然とした街をつくる事業です。ここで挙げた事業は、いずれも地権者が区画整理組合をつくって行いました。

事業を実施する費用は、保留地を売って調達しました。地権者は原則としてお金を出さず、代わりに自分の土地の一部を提供して、道路用地や保留地の確保に当てました。

**耕地整理事業**は、本来は農地の整理を目的としたものですが、玉川全円耕地整理事業は、将来の住宅地化を想定した事業でした。

### 編集担当からお礼とお願い

ヒヤリングや資料提供にご協力くださった方及び団体に厚くお礼を申し上げます。

追加の情報をお持ちの方は、ぜひお知らせください。間違い等のご指摘もお願いいたします。

### ●さくらフォーラムから

#### ニュースレター41号訂正・補足

**訂正** 4面 洋画家岸田劉生の生年 正 1891 誤 1991

**補足** 1面 ことしの開花期に呑川親水公園のサクラを確認したところ、白い花の樹が1本ありました。(種類未確認)

#### さくらストリート・ビュー(ホームページに掲載)をぜひご覧ください。修復しております。

ニュースレター41号でお知らせした「さくらストリート・ビュー」は、発行後暫くの間、不具合がありました。ご覧になれなかった方にお詫びいたします。修復しましたので、ぜひご覧ください。

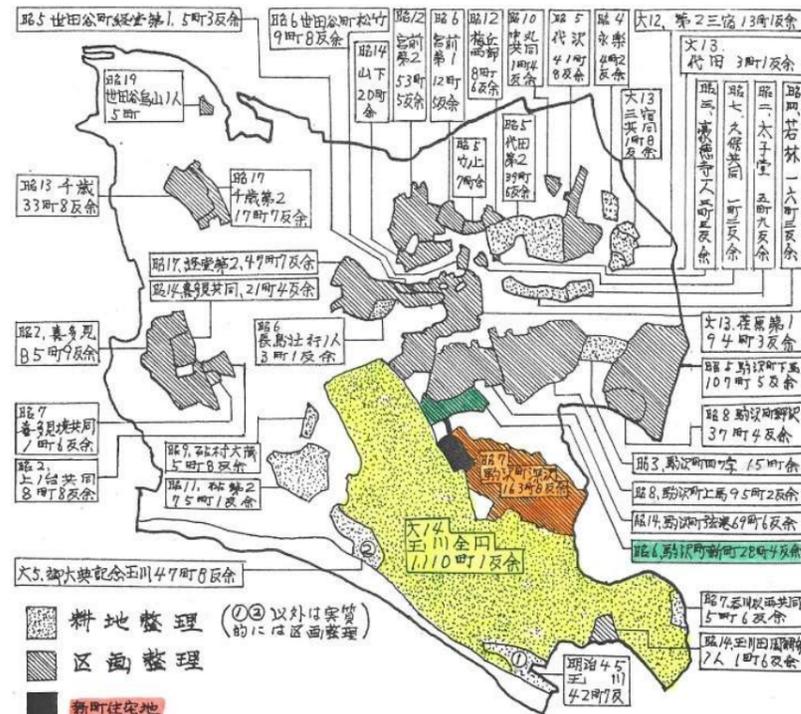
#### ことしの開花期の写真も掲載しています。

#### ①「深沢・桜新町 100 年史」(定価 500 円) を販売しています。(A5 版、全カラー、表紙共 72 ページ)

新町住宅地の分譲開始(1913年)前夜からの深沢・桜新町の100年をまとめた小冊子です。

#### ②地域の歴史・桜並木・景観・環境・みどいなどに関心のおありの方は、ぜひ、ご入会ください。

①、②共、お申込み・ご連絡は、下記発行元へ、又はホームページからお願いいたします。



耕地整理・区画整理実施状況図(昭和20年以前認可分。年号は認可年)

許諾を得て、三田義春『世田谷の近代風景概史』(昭和61年3月、世田谷区都市デザイン室)p81の図に加筆して、『深沢・桜新町 100 年史』p26に掲載



深沢・桜新町さくらフォーラムは、地域の風景づくりの活動に取り組む市民団体です。<http://sakura-forumjimdo.com/>、fb  
2面~3面左:1939年の地図と説明、3面右:新町に住んだ林二郎 4面:1面~3面左の注釈、さくらフォーラムから

## 80年以上前のこの地域—いまと比べながら

### 昔の地図を見てみませんか

**次面に掲げる地図(図3)**は、昭和14(1939)年測量の地形図で、8月測量の北半分(駒沢西部)と6月測量の南半分(玉川北部)を本稿用につなげたものです。中央右寄りのまとまった住宅地は、大正2(1913)年に関東で初めて当時の郊外で分譲が開始された新町住宅地です。

#### 図3で興味深い点・注目した点は…

- ・鍋島邸、南部邸、瀧沢邸、〇〇製作所、△△農園など、民間施設の固有名詞が記載されていること
- ・機密扱いなのか、伏せられた情報があるらしいこと
  - 馬事公苑(工事中)の南の広い土地(①と加筆)には建物がありながらも何も名称が示されていません。
  - 発行者がはっきりしません。同じ地図の昭和9(1934)年測量の版では、都市計画東京委員会と記されているのに対し、図3ではそれぞれ別の、肩書等の記載のない個人名が書かれています。

#### 図3よりさらに10年位前の地域のスケッチと地図

・右上の図1は、大正末期から昭和初期の新町住宅地周辺の様子を風景印象図として地元の荒木進が描写されたものです。\*1

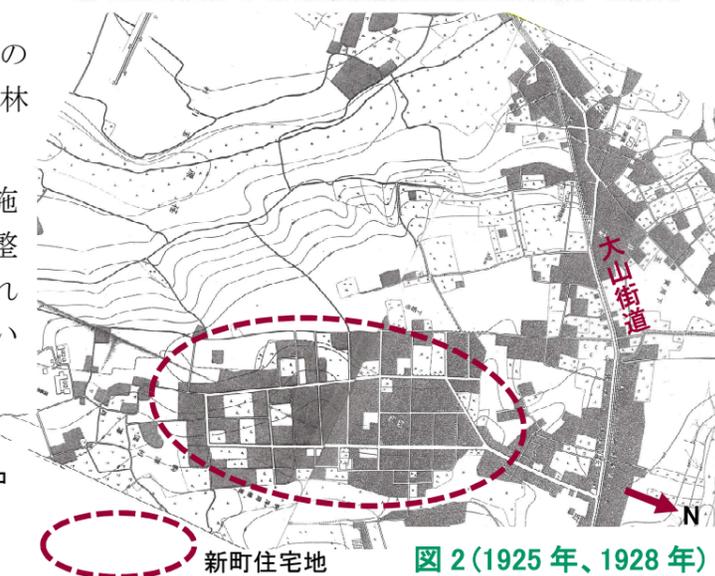
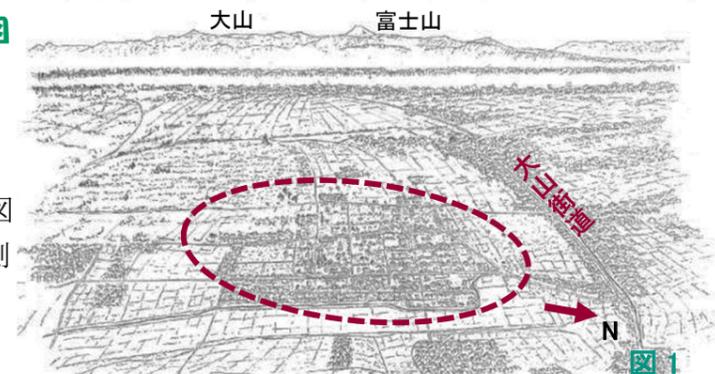
・右下の図2は、図3より10年以上前の地形図で、内務省復興局による昭和3(1928)年10月測量の北半分(駒沢西部)と大正14(1925)年5月測量の南半分(玉川北部)をつなげたものの中央部分を抜き出し回転したものです。

・この時代には、建物のある新町住宅地と玉電の走る大山街道の沿道を除くと、空地、草地、竹林や樹林地が広がっていたようです。

・次面の図3では、玉川全円耕地整理事業\*2(施行中、「馬事公苑は工事中」)、駒沢村新町区画整理事業\*2及び駒沢村深沢区画整理事業\*2(いずれもほぼ施行済み)が行われて道路が整備されていますが、図2ではいずれも着手前です。

図2~図4は、『帝都地形図第6集』(2005.3.20、之潮)中の図を了解を得て転載したものに加筆しています。

\*1、\*2、その他の注釈は、4面に掲載します。



発行元: 深沢・桜新町さくらフォーラム <http://sakura-forumjimdo.com/> fb  
〒158-0081 世田谷区深沢 8-19-6 フェリックス気付 電話: 03(3702)3274 FAX: 03(3702)3219  
©深沢・桜新町さくらフォーラム、2021  
世田谷区地域の絆ネットワーク支援事業補助金を受けて作成しました。